



四日市公害と環境未来館



研修・実習室を使って開催されている環境講座



「四日市公害裁判シアター」



「まちづくりの変遷」

未来へ、より良い環境を引き継ぐために

四日市市では、昭和30年代に四日市公害が発生し、多くの方が公害病に苦しみました。その歴史と教訓を次世代に伝えるとともに、環境改善の取り組みや産業の発展と環境保全を両立したまちづくり、さらには、その経験から得た知識や環境技術を広く国内外に情報発信することを目的に開館しました。

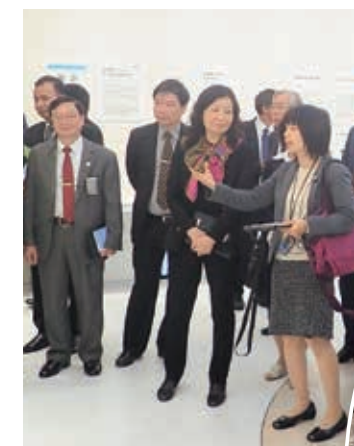
四日市公害と環境未来館、博物館・プラネタリウムの総称は

そらんぼ四日市

「そらんぼ」は、「そら」と「さんぼ」を組み合わせた造語で、青空を取り戻した四日市、博物館常設展「時空街道」、そしてプラネタリウムの宇宙から連想した「そら」に、「さんぼ」するように各施設を巡ってもらおうとの思いを込めて決定しました。



語り部講話会でお話しされる四日市公害裁判原告 野田之一さん(故人)(右)、市民活動家 澤井余志郎さん(故人)(左)



環境技術などの研修を通じた国際貢献 (ベトナムからの研修団)



市内外から多くの方が見学に訪れています